

2012年12月期

決算説明会

2013年2月15日

SBSホールディングス株式会社

www.sbs-group.co.jp

も く じ

- **2012年度決算及び
2013年度計画について**
- **2013年度グループ経営について**

2012年度決算及び 2013年度計画について

SBSホールディングス株式会社

財務・経理担当執行役員 山下泰博

12年12月期 連結業績 / 前期比較



(単位:百万円)

	11年12月期		12年12月期			
	実績値	構成比	実績値	構成比	増減額	前期比
売上高	121,148	100%	127,935	100%	6,786	+5.6%
営業利益	2,177	1.8%	2,901	2.3%	723	+33.2%
経常利益	1,653	1.4%	2,767	2.2%	1,113	+67.4%
当期純利益	2,522	2.1%	1,647	1.3%	△874	△34.7%

12年12月期 連結業績 / 計画比較



(単位:百万円)

	12年12月期					
	計画値	構成比	実績値	構成比	差異額	達成率
売上高	127,000	100%	127,935	100%	935	100.7%
営業利益	2,900	2.3%	2,901	2.3%	1	100.0%
経常利益	2,400	1.9%	2,767	2.2%	367	115.3%
当期純利益	1,800	1.4%	1,647	1.3%	△153	91.5%

持分法会社化による決算影響

(株)ゼロの持分法関連会社化を実施

損益計算書

(単位:百万円)

		12年12月期
営業利益		
持分法投資利益		435
受取利息など		209
営業外収益		644

追加取得 105万株(5.98%) 266百万円 ←2012年3月6日

既取得済 252万株(14.39%) 535百万円

合計 357万株(20.37%)

追加取得の評価替 321百万円

12年度の持分益取込 114百万円

貸借対照表

(単位:百万円)

		11年12月期	12年12月期	増減額
投資有価証券		2,407	4,705	2,297
内、ゼロ株式		535	2,168	1,632
固定資産				

(株)ゼロ株式 1,632百万円

利益剰余金		16,235	18,407	2,172
株主資本				

既存持分の評価替 986百万円

セグメント別業績(前期比較)

■2012年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	119,330	2,504	6,100	—	127,935
前期比	+5.9%	+4.6%	+0.7%	—	+5.6%
営業利益	1,728	1,206	44	△79	2,901
前期比	+36.6%	+9.6%	—	—	+33.2%
営業利益率	1.4%	48.2%	0.7%	—	2.3%

参考:2011年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	112,698	2,392	6,057	—	121,148
前期比	+5.6%	△60.7%	△14.1%	—	+1.1%
営業利益	1,265	1,101	△211	23	2,177
前期比	△28.1%	△51.3%	—	—	△48.9%
営業利益率	1.1%	46.0%	△3.5%	—	1.8%

※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

連結貸借対照表の推移

2011年期末

単位:億円

2012年期末



総資産 1,007

自己資本比率 24.5%

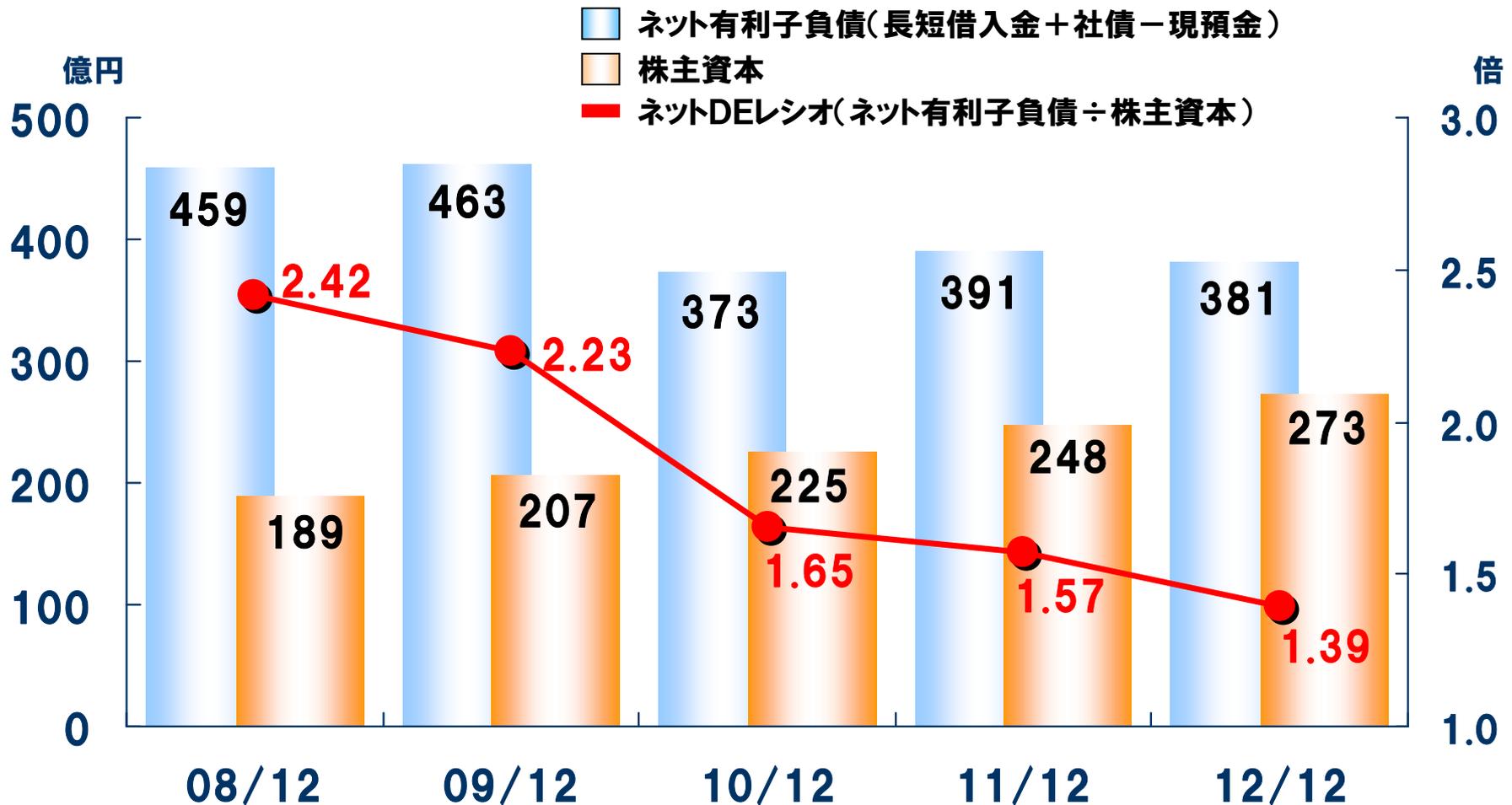
+37

自己資本比率は
1.7ポイント上昇

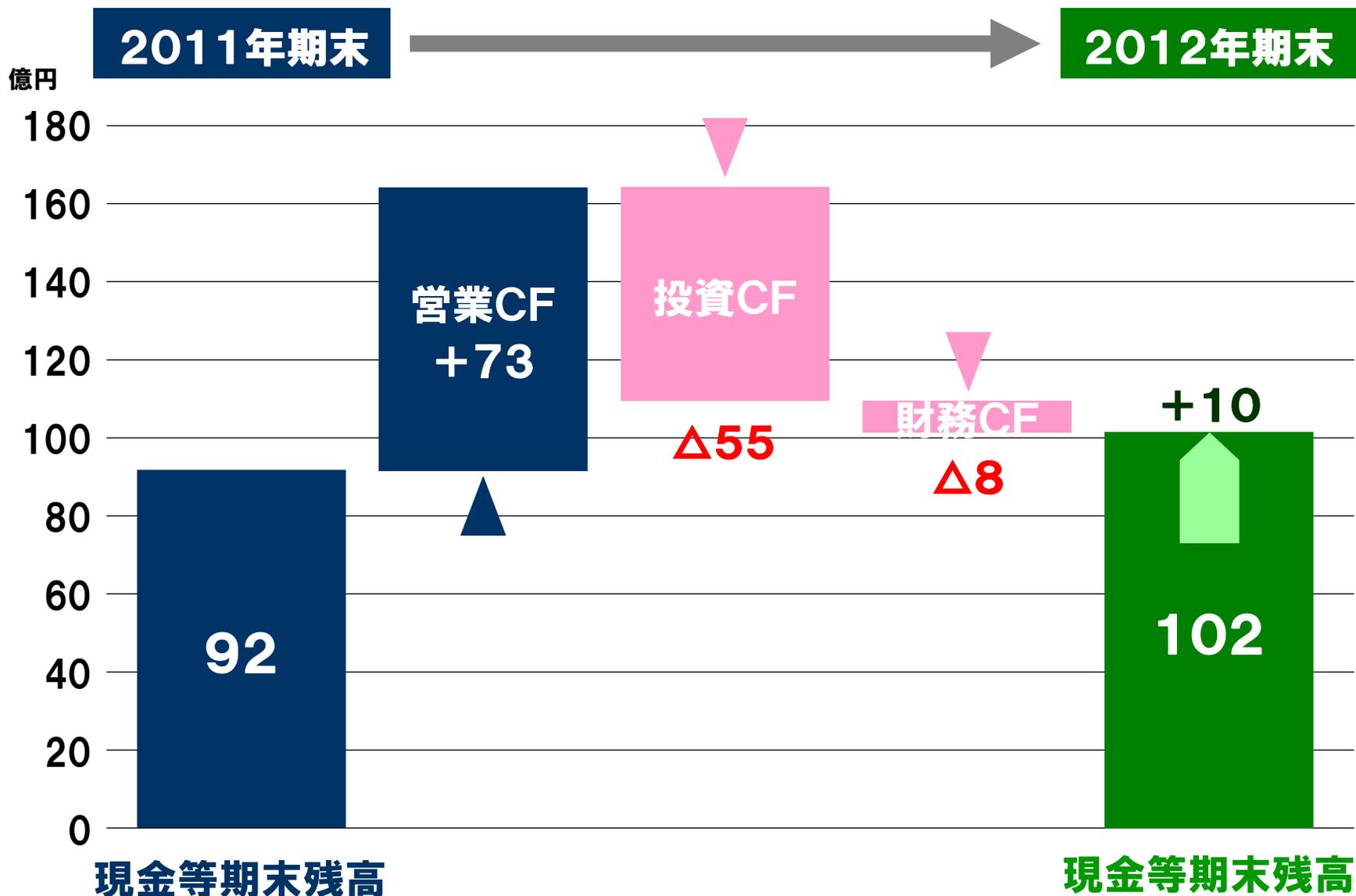
総資産 1,044

自己資本比率 26.2%

■有利子負債の低減に取り組む



連結キャッシュ・フローの概要



13年12月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	12年12月期		13年12月期			
	実績値	構成比	予想値	構成比	増減額	前期比
売上高	127,935	100%	128,000	100%	65	+0.1%
営業利益	2,901	2.3%	3,100	2.4%	199	+6.9%
経常利益	2,767	2.2%	2,700	2.1%	△67	△2.4%
当期純利益	1,647	1.3%	1,100	0.9%	△547	△33.2%

※13年12月期の当期純利益の主な減益要因

- (1) 12年12月期は、税効果会計の影響により税金費用が約2.5億円軽減されております。
- (2) 13年12月期は、ブランド統一による特別損失約4.2億円を見込んでおります。

13年12月期 業績予想/セグメント

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	119,160	2,660	6,180	—	128,000
前期比	△0.1%	+6.2%	+1.3%	—	+0.1%
営業利益	1,800	1,220	80	0	3,100
前期比	+4.2%	+1.2%	+81.8%	—	+6.9%
営業利益率	1.5%	45.9%	1.3%	—	2.4%

参考:2012年12月期実績

(単位:百万円)

	物 流	不動産	その他	消去等	合 計
売上高	119,330	2,504	6,100	—	127,935
前期比	+5.9%	+4.6%	+0.7%	—	+5.6%
営業利益	1,728	1,206	44	△79	2,901
前期比	+36.6%	+9.6%	—	—	+33.2%
営業利益率	1.4%	48.2%	0.7%	—	2.3%

※当頁の売上高は連結消去後の金額で表示しています。

2013年度 グループ経営について

SBSホールディングス株式会社
代表取締役 鎌田 正彦

3年間の業績動向と計画

■2012年は震災からの収益回復、2013年は投資の年



業界トップ10入りをめざす

“全方位の物流機能を持つ3PL企業集団”

3つの戦略

3PL拡大と
安定基盤(食品)確保

事業戦略

海外展開を本格化
アジアを主ターゲットに

海外戦略

M&A活用と
物流施設開発

投資戦略

グループ経営基盤整備

ローコストオペレーション体制～シナジーが発揮できる環境づくり

■2012年実績

- ・ネット通販 (玩具・育児用品、健康食品、オフィス用品)
- ・ホームセンター (マザーセンター運営を受託)
- ・ドラッグストア (四国から関西へ3PL受託拡大)
- ・その他 (家具輸入販売、工具メーカー、菓子メーカー)

■2013年予定

- ・新規3PL ⇒ ホームセンター(店舗数50、首都圏・一部関西)
- ・既存3PL ⇒ ドラッグストア(新センター開設し四国2センター体制へ)

■3PL売上高の推移

(単位:億円)

3PL事業	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度 計画
売上高	354	423	443	460
前期比	+10.5%	+19.5%	+4.7%	+3.8%

注)2012年度は見込数値です。

■日本レコードセンターの収益性向上へ

○倉庫の集約(5月)

集約効果と作業効率向上効果が期待される



・上落合DC(7,500坪)



・長沼DC(6,500坪)

・外部倉庫(4,500坪)

計18,500坪



名称	厚木物流センター(仮称)
所在地	神奈川県厚木市
延床面積	約48,000㎡(14,500坪)
構造	地上4階
竣工	2013年3月(予定)

神奈川県厚木市

■野田吉春物流センターが竣工し、フル稼働へ



名称	野田吉春物流センター
所在地	千葉県野田市
延床面積	約31,600㎡(9,600坪)
構造	地上4階
竣工	2012年9月末
竣工	主 大手酒造メーカー 大手食品メーカーなど

■賃貸用不動産の持分を6割⇒10割

名称	南新宿SKビル
所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷
敷地面積	約1,320㎡(400坪)
延床面積	約7,200㎡(2,200坪)
構造	地上8階、地下1階
竣工	1997年7月



長津田PJ

大手食品メーカー向け施設
施設開発と提供が目的



名称	横浜長津田物流センター(仮称)
所在	神奈川県横浜市
延床面積	約47,000m ² (14,200坪)
構造	地上2階、地下1階
竣工	2014年9月(予定)
投資総額	約90億円

阿見PJ

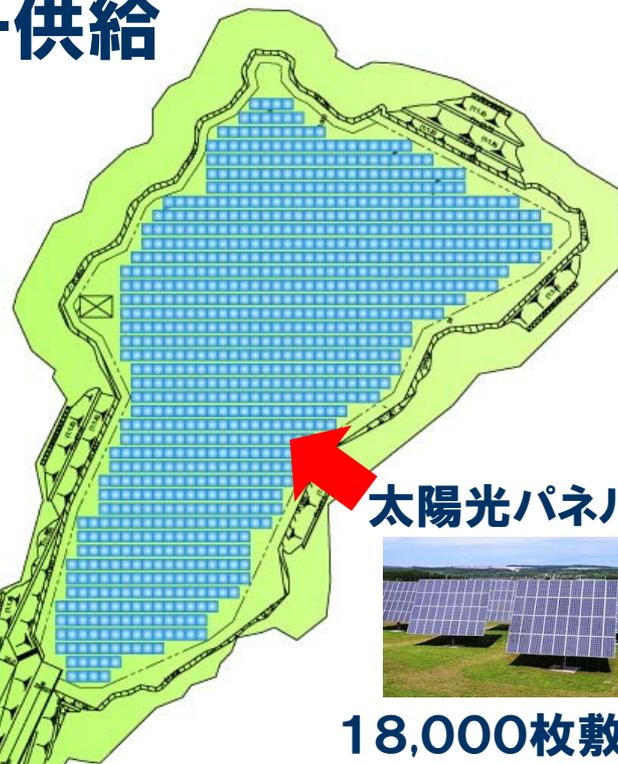
雪印メグミルク様向け施設
乳製品の3PL提供



名称	阿見物流センター(仮称)
所在	茨城県稲敷郡阿見町
土地購入	2013年春予定
建物	計画中

■資産有効利用とクリーンエネルギー供給

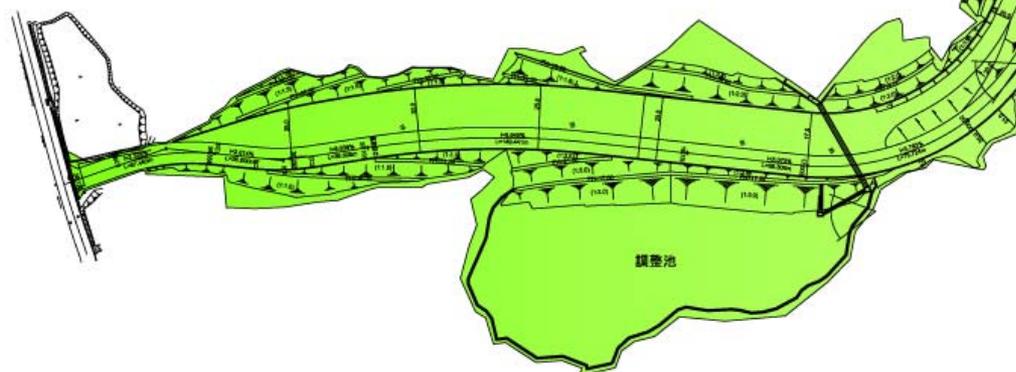
- ・設置場所 ⇒ 1保有地と4施設
- ・太陽光パネル ⇒ 3万枚設置
- ・投資総額 ⇒ 約14億円
- ・発電能力 ⇒ **5.3メガW**
- ・発電量(年) ⇒ 560万kWh
- ・売電収入(年) ⇒ 約2億円
- ・事業開始 ⇒ 8月(一部3月)
- ・環境効果(年) ⇒ **CO₂削減量:1,800トン**
石油削減量:7万缶(18%)



太陽光パネル



18,000枚敷設



芝山太陽光発電所

(千葉県芝山町)

発電能力 2.9メガW

事業開始 2013年8月(予定)

投資戦略 太陽光発電への参入

■4つの施設屋上にも合計12,000枚のパネルを設置

野田吉春物流センター

(千葉県野田市)



発電能力
0.5メガW
パネル数
3,200枚
稼働予定
2013年3月

川越物流センター

(埼玉県川越市)



発電能力
0.8メガW
パネル数
3,400枚
稼働予定
2013年8月

千曲物流センター

(長野県千曲市)



発電能力
0.6メガW
パネル数
2,500枚
稼働予定
2013年8月

西日本ロジスティクスセンター

(京都府京都市)



発電能力
0.5メガW
パネル数
3,200枚
稼働予定
2013年8月

流動化可能な稼働中の物流センター

開発名称	土地(坪) 建物(坪)		竣工日	投資残高	稼働状況		B/S 計上科目	保有会社
京田辺(京都)	7,920	11,369	07年4月	34億円	賃貸中	酒造メーカー	たな卸資産 不動産信託受益権	エーマックス (SPC 新橋キャピタル)
川越(埼玉)	9,881	14,303	07年9月	42億円	自社利用	日雑、飲料などの3 PL業務	固定資産	ティーエルロジコム
野田吉春(千葉)	5,100	9,569	12年9月	33億円	賃貸、 自社利用	酒造メーカー、食品 メーカーなど	固定資産	ティーエルロジコム
合計	22,901	35,241		109億円				

注)投資残高は、土地・建物の簿価に減価償却を反映したものである。

2013年に着工予定の施設

開発名称	土地(坪) 取得日	投資残高	立地環境・開発内容、時期	投資総額 (予定)	B/S 計上科目	保有会社
①長津田(横浜)	19,200 06年6月	41億円	横浜インター至近、物流センターを建設 2013年春造成開始、2014年夏完成予定	90億円	たな卸資産	エルマックス
②阿見(茨城)	約1万坪 13年春予定	未定	阿見町東部工業団地内、雪印メグミルク様 向け物流センターを建設、詳細計画中	未定	固定資産	フーズレック
③芝山(千葉)	33,954 07年6月	3億円	成田空港近く、太陽光発電所を建設 2013年8月稼働予定	10億円	固定資産	SBSホールディングス
④幸浦(横浜)	2,570 06年3月	11億円	TL横浜金沢支店隣接の更地、未定	未定	固定資産	ティーエルロジコム
合計		55億円		100億円		

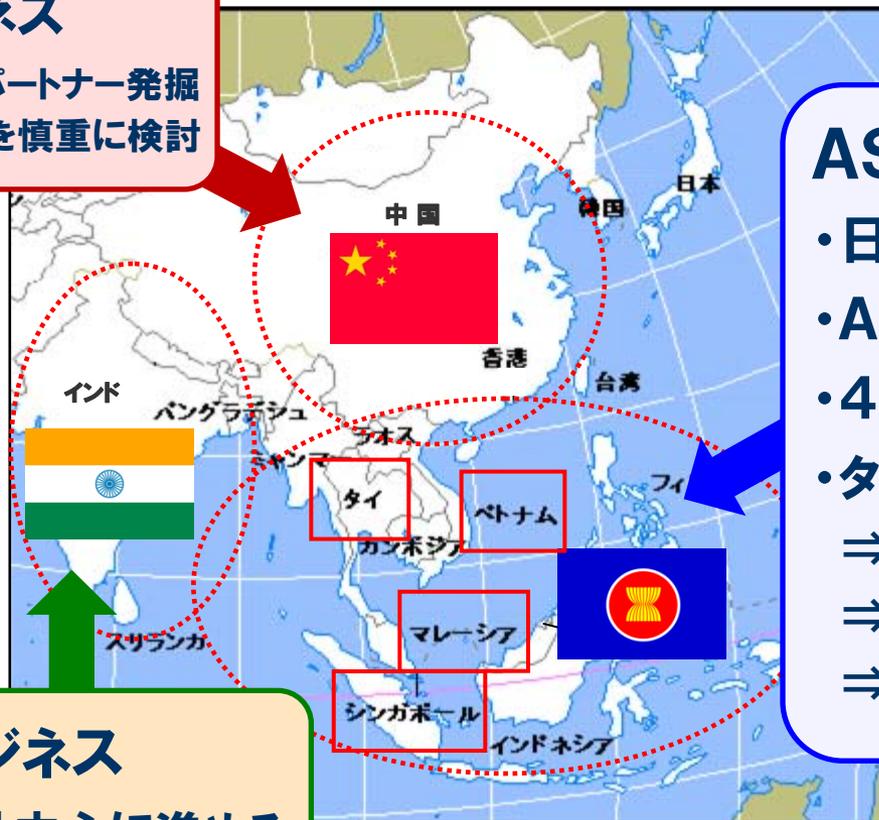
注)投資残高は、土地の取得簿価を掲載、投資総額は、投資残高に土地造成や建設費用などを加えた金額を掲載

海外戦略 アジアの攻め方

■アジアで成長する企業グループへ

中国ビジネス

- ・香港も含めパートナー発掘
- ・提携・M&Aを慎重に検討



インドビジネス

- ・アトラス社中心に進める
- ・インド・アジア⇄欧米

ASEANビジネス

- ・日系企業のASEANシフト急増
- ・ASEANにビジネスチャンス
- ・4か国拠点で海外事業の核作り
- ・タイでの進捗状況
 - ⇒電機部品の国際一貫物流を受託
 - ⇒電機、自動車メーカーなど商談中
 - ⇒現地での倉庫建設も視野に

■フォワーディング情報システム「G-Fourth」を投入 (4月からタイなどASEAN拠点に順次展開予定)



注)G-Fourth(ジーフォース)は、現在、登録商標申請中です。

お客様視点からの「見える化」が特長、強み！

1	オーダー	航空、海上、陸上輸送の最新状況を、ご覧いただけます
2	在庫	拠点在庫から輸送中在庫までトータルに、ご覧いただけます
3	アラーム	天候やトラブルなどによる遅延を検知し、お知らせします
4	レポート	受払、船積、在庫などの情報をExcel形式などで、ご利用できます

東証二部に上場、さらに上へ

2012年12月14日 東京証券取引所市場第二部に上場



年内に、東証一部への上場を目指す！

(参考) 2012年12月13日 上場記念配当発表
2013年 2月10日 JASDAQ上場廃止
2013年 2月13日 貸借銘柄に選定

「SBS」を冠した社名に統一



現社名	新社名 ※1
ティーエルロジコム	SBSロジコム
フーズレック	SBSフレック ※2
全通	SBSセントライ
SBSロジテム	SBS即配
日本貨物急送	SBSフレイトサービス
ティーエルトランスポート	SBSトランスポート
エイシーシステムコーポレーション	SBSグローバルネットワーク
総合物流システム	SBSサポートロジ

※1 新社名は、すべて社名の後ろに「株式会社」が付きます。

※2 同社の地域子会社は、SBSフレックに地域名称を付加した新社名に変更する予定です。

トラック、制服もデザイン統一

■グループ共通のトラックデザイン（案）



※トラックヘッドの色は、オレンジ色を予定しています。

■グループ共通の制服デザイン（案）



※最終決定のデザインではありません。配色も実際とは異なります。

■東証二部上場と創立25周年を機にブランドを統一する

- ・グループ一体感を高め、認知度向上を図る
- ・さらなるグループシナジーを創出する
- ・ブランド統一日は、2013年6月1日を予定

<新シンボルマークコンセプト>



SBSの「S」をモチーフに、2つのカーブをダイナミックに交差させ、SBSと人・企業・社会が向かい合い、交わり、相互に作用しながら、誰もが夢に向かって挑戦できる社会の実現に向けて躍動するSBSの姿を表現しています。



SBS GROUP

For Your Dreams.